

■葉山町クリーンセンター再整備事業進捗状況報告

基本計画の概要

1. クリーンセンター再整備事業の目的

葉山町クリーンセンターは、昭和 52 年に可燃ごみ焼却処理施設を建設して以来 40 年以上が経過し老朽化が進んでいる。平成 21 年に下水道投入へ移行するため、し尿処理（焼却）施設を停止し、続いて平成 22 年には、処理水中のダイオキシンの基準値超過により、可燃ごみ焼却処理施設を停止し、現在は、不燃ごみ処理施設のみ稼働している。その不燃ごみ処理施設についても、缶類・金属類の集団資源回収化に伴い、処理量が大幅に削減され処理効率が著しく低下している。また、ガラスびんを始めとした各ストックヤードについても適正な保管量の確保や機能的に配置されている状況とは言い難く、規模や配置等の再検討が必要である。

この様な状況の中、逗子市とのごみの共同処理の進展により策定した「逗子・葉山地域循環型社会形成推進地域計画」を踏まえ、停止している可燃ごみ焼却施設、し尿処理施設を中心とした現有施設を全て解体撤去し、逗子市との共同施設である生ごみ資源化施設、町単独で使用する各ストックヤード等を適正且つ機能的に再配置し、再整備を行う。

2. 施設概要

各施設の処理対象物、施設規模等の概要は以下のとおりである。

項目/施設等	生ごみ資源化施設	可燃ごみ中継施設	植木剪定枝ストックヤード	資源物ストックヤード※
処理対象物	家庭系生ごみ	可燃ごみ	ばら、袋入り	ガラスびん等
施設規模	10t/日	19t/日	約 24 m ³ /日	約 86 m ³ /日※
建築面積 (m ²)	約 1,300	約 250	約 140 (貯留面積)	約 290 (貯留面積)
処理方式	微生物を活用した堆肥化方式	パッカー車からコンテナへ直接積替え方式	直投式	直投式
臭気対策	活性炭等	薬剤噴霧	同左	同左
需要先等	農家、民家等	逗子市へ搬送	資源化業者	同左

※ガラスびん、製品プラスチック、金属等の合計値

3. 整備事業

(1) 事業費の見通し

再整備事業費は、解体工事費約 5.5 億円、造成工事費約 0.3 億円、建設工事費約 5.8 億円、工事期間中の可燃ごみ中継輸送のための仮設中継施設設置費の約 0.2 億円合計約 11.8 億円となる。建設費の見通しについては、解体費及び建設費ともにオリンピックの影響を受けていると考えられることから、建設費についてはオリンピックの影響を受けていないと考えられる平成 23 年度から平成 27 年度の建築着工統計調査データを用いて算定した。なお、解体費については 3 社からの見積をベースに算定していることから、オリンピックの影響を受け若干高めになっていることも考えられる。(予算取得時に再度見積もりを徴する予定) 基本計画策定時における事業費の見通しは以下のとおりである。

事業名	工事費(千円)〈税抜き〉
解体工事	553,000
造成工事	28,200
建設工事	581,180
仮設工事*	19,940
合計	1,182,320

※諸経費は別途

4. 工期の見通し

再整備事業の工期の見通しは、延べ約 30 ヶ月で、最大工事期間は以下のとおりである。

事業名	最大工事期間(月)
解体工事	23
造成工事	2
建設工事	5
合計	延べ 30

主な工事の工事期間は以下のとおり予定している。

主な工事	工事期間(月)
可燃ごみ焼却施設解体	15
し尿処理施設解体	10
不燃物処理施設解体	5
その他解体	延べ 5
生ごみ資源化施設建設	5
各種ストックヤード建設	5
中継施設建設(管理棟含む)	5

造成工事	延べ5
南西側進入道路拡幅	1
許認可申請等事前手続き	2

※基本計画の工程表から参考に作成。実際の工事にあたっては工事内容がオーバーラップすることから、工期の増減が生じる場合がある。

5. 再整備工事期間中の車両台数

1日当りの最大車両台数は4~14台となる。なお、基本計画においては、1日当りの工事時間を8:30~17:00までの7.5時間と仮定しており、その場合1時間当たり最大1~2台の通行量となり、交通量に大きく影響を及ぼすことは無いと考えている。また、工事期間中は誘導員を配置し、一般車、ごみ収集車等との事故防止を図るとともに、工事車両が集中しない搬出入計画を立案し、工事を進める計画とする。なお、工事作業日を原則平日として計画立案しているが、周辺住民との話し合いによって土曜・日曜の作業が可能となった場合、最大車両台数を減らすことも可能であると考えている。

車種	台数(台/日)	備考
10t車	1~5	台数は、解体、造成、建設工事期間中のもの
トレーラー	1~5	
ユニック車	1~2	
その他	1~2	
最大台数	4~14	

6. 工事期間中の環境保全対策

工事期間中は、周辺環境への影響を及ぼすことが無いよう以下の対策を採る。

工事内容等	環境保全対策等
作業日※	土曜日・日曜日・祝祭日及び年末年始を除いた日(原則)
作業時間※	8:30~17:00(原則)
騒音・振動・粉塵	敷地境界周辺で常時監視
ダイオキシン類	解体前・解体中・解体後に敷地境界4箇所各1回の大気中のダイオキシン類測定

※変更が生じる場合は周辺住民と協議し、理解を得た後変更するものとする。

